

# 山 紫 水 明



[写真提供 靖國神社]

第130号

---

## 靖國神社 由緒

靖國神社は、明治二年（一八六九）六月二十九日、明治天皇の思し召しによりて建てられた東京招魂社が始まりで、明治十二年（一八七九）「靖國神社」と改称されて今日に至っています。

靖國神社は明治七年（一八七四）二月二十七日、明治天皇が初めて招魂社に参拝された折にお詠みになられた「我國の為をつくせる人々の名もむさし野にとむる玉かきの御製からも知ることができるよう、國家のために尊い命を捧げられた人々の御霊を慰め、その事績を永く後世に伝えることを目的に創建された神社です。『靖國』という社号も明治天皇の命名によるもので、祖國を平安にする』『平和な國家を建設する』という願いが込められています。

靖國神社には現在、幕末の嘉永六年（一八五三）以降、明治維新、戊辰の役（戦争）、西南の役（戦争）、日清戦争、日露戦争、満州事変、支那事変、大東亜戦争などの国難に際して、ひたすら「国安かれ」の一念のもと、國を守るために尊い生命を捧げられた二百四十六万六千余柱の方々の神霊が、身分や勲功、男女の別なく、すべて祖國に殉じられた尊い神霊「靖國の大神」として齊しくお祀りされています。  
（靖國神社ホームページより）



## 表紙 第一三〇号 目次

靖國神社由緒	1
新会長挨拶	2
新執行部・監事挨拶	3
新役員挨拶	4
大東亜戦争終結七十年特別寄稿 「みたまとなごめ」	5
平成二十七年定例総会並びに 懇親会報告	6
平成二十六年活動報告	8
各委員会報告	10
近畿・中央報告	12
平成二十七年新入会員紹介	17
各次長紹介・編集後記	21
各次長紹介・編集後記	24

# 新会長挨拶

会長 櫻井 宣人



「そんなに劇的で大きなことはできないだろう。やるつもりもない。でも支えてくれてる皆さんに恩返しをしたいし、神青活動の意義を一人でも多くの会員に感じてもらいたい。新たなことに挑戦してみようという機運を芽生えさせたい。」

会長という分不相応の大役を仰せつかってから四ヶ月余り。今の率直な気分を見榮張って恰好つけて述べさせていただくなら、そんな心境でしょうか。

当会は大東亜戦争終結より間もない昭和二十六年六月、戦後の混乱のさなか、日本人の精神文化、暮らしの基盤である惟神の道を守り伝えるため、私共の大先輩方が厳しい環境のもと並々ならぬ努力と情熱をもって設立されました。

以来、皇室の尊厳護持運動をはじめ、本会報誌『山紫水明』の発行や子供達や若い世代に向けた神道教化活動、交通安全運動に寄与する募金活動やチャリティバザーなどの社会奉仕活動に取り、た神道教化活動を目的に京都国立博物館において神道文化財展「神々の美の世界」を開催するなど、長きに亘る歴史と伝統を育んでまいりました。そして次年度は創立六十五周年の佳節を迎えます。

本年七月より会長という大役を仰せつかることとなり、今まで遥か遠い存在として隅から眺めていた歴代の会長のお姿を思い起こしたとき、常に飄々とさりげなく何事もこなしておられるように見えていた裏には、さぞ多くのご努力やご苦労があったことと拝察いたし、改めてその任の重さをひしひしと感じながら、設立当初の情熱の灯を絶やすことなく当会の発展に努めてこられた先輩諸賢に只々深い敬意を表する次第です。

たかだか四ヶ月余りで既に任期の三分の二ほどは過ぎたのではないかと錯覚しているような自分に、周年の期を迎える大切な任期を果たして無事に務めることが出来るのであるのかと大きな不安を感じるところですが、もとより当会の活動は会員一人ひとりの積極的な関わりによって成り立っています。そして当会には、大変有り難くも、その姿勢に対して深いご理解をいただき、支えてくださる多くの方々がいっぱいいます。とかく自分のことで精一杯という思考になりがちなこの時代こそ、会員一丸となって公の精神を大切に夫々が神青活動の意義を理解し、活動を支えてくださる皆様の思いに応えることができるよう、例えば歩みは小さくとも日本の未来のために青年神職らしい情熱をもって新たな事柄にも挑戦し発信力をもった活動を継続してまいりたいと存じます。

関係各位には、新体制を迎えまして今年度、そして創立六十五周年を迎える次年度へと続く当会諸活動に對しまして益々のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 新執行部・監事 挨拶



監

事 岩田 康彦（松尾大社）

来年、創立六十五周年を迎え、櫻井会長を中心とした記念事業を含む全ての活動を盛り立てるべく、これが最後のお勤めと心に唱え精進致します。

会計局長

橘 重史（伏見稲荷大社）

この度会計局長を仰せつかり、身の引き締まる思いです。円滑な会計業務に努め、会の発展に微力ながらも貢献できるよう精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

副会長

中田 諭（賀茂御祖神社）

この度、副会長という大役を仰せつかり、その責務の重大さに身が引締まる思いが致します。甚だ微力ではございますが、諸先輩の偉大なご功績を引き継ぎ、当会の更なる発展に誠心誠意尽力する所存でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

会長

櫻井 宣人（石清水八幡宮）

副会長

松大路 和弘（北野天満宮）

副会長として櫻井会長を支え、諸先輩が築いてこられた伝統ある京都府神道青年会の発展のために微力ながら精一杯努めたく存じます。また、会員一同一丸となつて楽しく活動を行つていきたいと思っておりますので協力のほど宜しくお願い致します。

副会長

六人部 是充（向日神社）

この度、京都府神道青年会の副会長という任を仰せつかりました。諸先輩方が受け継がれてきた襷の重みに押しつぶされないよう、微力ながら精一杯に務めさせて頂く所存です。宜しくお願い致します。尚好きな言葉は思いやり「新風」です。

事務局長

竹内 政裕（八大神社）

諸先輩方が築いて来られた歴史と伝統ある当会が更なる発展を遂げるよう、また、会員皆さんが活発に活動できよう事務局として精一杯努めて参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。

監事

中川 正盛（朱智神社）

監事という重責を仰せつかり、身の引き締まる思いです。会務と会計を監査し、当会の為に、精一杯務める所存です。

## 新役員 挨拶



### 事業委員長

黒木 章弘（伏見稻荷大社）

来年度に創立六十五周年の佳節を迎える年に事業委員長の役を仰せつかり身の引き締まる思いがしております。微力ながら与えられた職務を全うするべく誠心誠意務めて参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

### 教化委員長

丸茂 広知（八坂神社）

この度、教化委員長という大役を仰せつかり、神道教化の責務を感じております。委員皆様と手を取り合い楽しく充実した活動になるよう精一杯務めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

### 親睦委員長

生寫 和顕（平安神宮）

前期から続いて二度目となる役を頂きました平安神宮の生寫和顕と申します。前回は、ただ付いていくだけでしたが、今回は自分が自ら舵をとって、やっつけていけるような二年間に出来ればと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

### 組織委員長

大瀧 徳子（御香宮神社）

平成生まれの未熟な組織委員長ですが、若さを活かして頑張ります。委員皆さんが二年後にやっくて良かったと思える、楽しく充実した活動にしていきたいと思っておりますのでご指導ご協力賜りますようお願い致します。

### 渉外委員長

田中 博志（石清水八幡宮）

この度、渉外委員長を務めさせて頂くことになりました。櫻井会長を始め、執行部、役員、委員の皆様のご助力を頂きつつ、委員長の大役を全うしたく思っております。微力ながら精一杯頑張りますので、二年間ご指導ご協力の程、宜しくお願い致します。

### 広報委員長

生寫 紀之（大將軍八神社）

「広報」という名の通り会員の皆様を始め関係各位に当会の情報を広くお知らせできるよう会員の皆様と共に努めて参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。



## 大東亜戦争終結七十年特別寄稿 「みたまとなごめ」



靖國神社 宮司 徳川 康久

平成二十七年は大東亜戦争終結七十年ということで、昨年夏より、神社本庁、各県神社庁、各地の遺族会、また、靖國神社を支援てくださる多くの団体に、今年一年間の靖國神社、護國神社への参拝を勧奨してまいりました。それに対しましては多くのご理解をいただき、年初から境内は大勢の参拝者で賑わっております。誠にありがたい、関係各位のご理解、ご尽力に感謝いたします。

靖國神社は明治二年、明治天皇の思し召しにより、戊辰戦争の西軍戦死者を祀る東京招魂社として創建されました。十年後に靖國神社と改称し、以降、嘉永六年より大東亜戦争までに我が国に殉じられた方々をお祀りしています。現在のご祭神数は二百四十六万六千余柱、うち八十六・五%が大東亜戦争での戦死者です。この数字から、先の戦争が我が国にとっていかに大きな戦であった

かがおわかりかと思えます。

去る九月二日に神社本庁で開催された神道教学研究大会でのテーマは「人霊祭祀」でした。当日の聴講はかきませんでしたが、私は靖國神社で春の新入職員入社式、また、夏の皇學館、國學院よりの神社実習生に対しての講話で、「人が神になるとはどういうことなのか」という課題を毎年話し、夫々に考えてもらっています。靖國神社で奉仕していますと、人霊祭祀と慰霊顕彰は避けて通れないテーマだからです。考えることに対してのヒントはその時その時で披露していますが、私自身、永遠のテーマの如くまだこれというまとめには至っていません。

徳川家では、家康公が神として東照宮をはじめ縁のあるお社で祀られています。家康公は元和二年（一六一六）四月十七日、駿

府城で薨去されますが、その数日前、宗教ブレンであった金地院崇伝と天海僧正に遺言を残しています。それは、「臨終となつたら躰は久能に納め、葬礼は江戸の増上寺に申し付け、位牌は三河の大樹寺に立て、一周忌が過ぎたら日光山に小堂を建て勸請せよ。八州の鎮守となろう。」というものです。これが神として久能山東照宮、日光東照宮に祀られる基となる由緒ですが、遺言により自らが神となるという珍しい例だと云えましょう。

その家康公の一生は、薨去一年前の大阪夏の陣まで戦の連続でした。領地、領民を守ることから天下統一を目指す戦へと進むわけですが、その過程で徳川家に殉じた家臣はどれ程の数だったのでしょうか。詳しい統計はないと思いますが、戦国時代最多の戦死者を出した関ヶ原では、両軍合わせて約八千人といわれています。半数が東軍だと、それ以外、公の幼少からの度重なる戦を考えれば、一万人に近いのではなからうかと私は推測します。それ故、家康公は毎日「南無阿弥陀仏」と紙一面に何行もびつしりと書かれていました。徳川家に殉じた家臣を弔おうという、総大将としての気持ちだと思います。

慰霊の歴史は人類の歴史と同じ長さです。その時、その地で方法は異なるでしょうが、人は死んでも霊魂は残り、守り神としてどこからか見守っていてくださる。それに応え、遺された人々が霊魂を慰める古今東西を問わぬ気持ちで慰霊なのです。御霊安かれと願えばきつと届くはずです。靖國神社の霊璽奉安祭や例大祭の祝詞奏上中に祝詞座にすーつと風が流れると、あつ、ここにいらつしやるなど感じます。そのような時、祝詞は終えていても、

もう少しここに座つてもよろしいでしょうかという気持ちになります。

### 靖國神社宮司 徳川康久 略歴

とくがわ やすひさ  
旧男爵 別家徳川慶喜家分家

昭和二十三年六月十三日生

昭和四十六年三月 学習院大学法学部法学科卒業

昭和四十六年六月 フィリップス石油株式会社入社

平成八年四月 國學院大学文学部Ⅱ部神道学科入学

平成十年三月 フィリップス石油株式会社退社

(化学品部長兼石油ガス部長)

平成十二年三月 國學院大学文学部Ⅱ部神道学科卒業

平成十六年八月 芝東照宮権禰宜拝命

平成十六年十二月 故高松宮宣仁親王妃喜久子殿下葬儀において

司祭副長を務める(平成十七年十二月まで)

平成二十五年一月 靖國神社宮司就任(第十一代)

伯父・徳川 熈 海軍少佐 海兵六十五期

昭和十八年七月十二日ソロモン群島方面にて戦死

昭和二十一年四月三十日 靖國神社に合祀

社会福祉法人児童養護施設 子供の町」理事

NPO法人 国際武道院 国際武道連盟 会長

NPO法人 日本放鷹協会 名誉会長

以上



## 定例総会報告

去る平成二十七年七月八日、ホテルグランヴィア京都に於いて、会員約八十名の参加のもと、平成二十七年定例総会が開催された。まず、中川副会長より開会の辞が述べられ、神宮遙拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和と次第通りに進められた。次に当会に対し多大なご尽力を賜り、悲しくもご逝去なされた先輩諸兄の御霊に対し、黙祷が捧げられた。

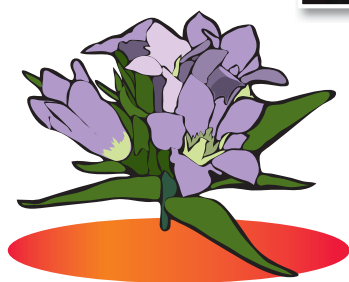
次に岩田会長の挨拶の後、議長に仲尾会員が指名され、議事に入った。議事案件として平成二十六年度活動報告、決算報告、監査報告がそれぞれ行われた。以上、三件が一括で審議され、異議無く承認された。

ここで今期の役員は会員席へ移動し、仲尾議長より先の臨時総会において承認された、櫻井新会長、岩田新監事、中川新監事の紹介がなされた。次に役員改選に関する件として櫻井新会長より次期の役員候補者の紹介がなされ、異議なく承認された。これにより承認を受けた候補者が新役員に決定し、役員席に席を移した。また、これに合わせて櫻井新会長より神道青年全国協議会、神道青年近畿地区連絡協議会への出向者の紹介。また、事務局、会計局両新局長よりそれぞれの次長も紹介された。

次に平成二十七年活動方針案並びに活動計画案が櫻井会長より、平成二十七年予算案が橘会計局長より上程され、以上二件が

一括審議の上、承認された。また、議事第七号の創立六十五周年記念事業に関する件も承認され、以上全ての議事案件が承認を受けた。次に会歌を合唱し、六人部副会長の閉会の辞により、定例総会は滞りなく終了した。

この定例総会をもって、櫻井新会長、新役員の下での新たな京都府神道青年会の二年間の活動が始まった。





# 懇親会報告

定例総会に引き続き、懇親会が開催された。

懇親会には、京都府神社庁長様を始め、多数の御来賓、協賛業者の皆様、OB会員の皆様のご出席を賜った。

まず、開会に先立ち、ヤチマタ基金贈呈式が行われ、櫻井会長より京都府神社庁長 田中 恆清様に目録が手渡され、当会事業の成果が奉告された。

次に、中田副会長より開会の辞が述べられ、櫻井会長の挨拶が行われた。続いて、御来賓の方々が一人ひとり紹介され、代表して京都府神社庁長 田中 恆清様より御祝辞を頂戴した。引き続き、京都府氏子青年連合会会長 杉本 寿一様による乾杯の発声で懇親会は進行した。

懇親会の途中には、新たにOBになられた先輩の紹介、新入会員の個性的な自己紹介、親睦委員会による余興などで会は、和やかに進んだ。



最後に当会OB幹事の本郷 貴弘先輩による万歳三唱が行われ、閉会の辞を松大路副会長が述べ、懇親会は、盛況の内に終了した。



平成二六年度 京都府神道青年会活動報告書

自 平成二六年七月一日 至 平成二七年六月三〇日

年月日	内 容	人数	場 所
七月 二日	監査会開催	四名	松尾大社
三日	チャリティバザー収益金寄付	二名	京都府庁
四日	定例総会直前役員会開催	一七名	平安神宮
四日	平成二六年度定例総会開催	八四名	平安神宮
四日	同 懇親会開催(総勢二七名)	八三名	平安神宮会館
三日	渉外委員会 第二回委員会開催	二名	薄伽梵
四日	事業委員会 七五三ボスター撮影	六名	フォトスタジオオマツモト
二日	教化委員会 第二回委員会開催	七名	伏見稲荷大社
二日	近畿地区 第一回役員会出席	三名	和歌山マリーナシティ
二六日	渉外委員会 「ヤチマタ募金活動」開催(二、六六一巴)	一四名	賀茂御祖神社
二八、二九日	近畿地区 「設立二〇周年記念祝・鎮魂鍊成研修会」参加	八名	石上神社
三二日	親睦委員会 第一回委員会開催	八名	護王神社
八月 一日	京都府神社庁 関係団体懇話会出席	会長	京都府神社庁
四日	第二回役員会開催	一四名	水玉屋
七日	事業委員会 第一回委員会開催	九名	武信稲荷神社
七日	野球部納涼会開催(総勢二名)	二名	天竺京都店
二日	教化委員会主催 鎮守の社のお祭り体験	一六名	石清水八幡宮頓宮
二二日	京都府神社庁 子ども参宮団に参加	五名	神宮他
二二、二三日	神青協 平成二六年度夏期セミナーに参加	五名	神社本庁・靖國神社
二九日	組織委員会 第一回委員会開催	九名	伏見稲荷大社
九月 二日	親睦委員会主催 親睦運動会開催	五八名	立正佼成会京都教会体育館
三日	日本会議・京都総会	四名	ホテルグランヴィア京都
四日	宮城県神道青年協議会 定例総会及び記念講演会出席	一名	仙台国際ホテル
四、五日	京都府神社庁・京都府神道青年会共催 設立六五周年記念大会出席	九名	賀茂別雷神社
一〇日	近畿地区第二回役員会出席	四名	ホテルグランヴィア和歌山
一〇日	近畿地区第一回連絡会出席	七名	ホテルグランヴィア和歌山
一二日	第一回執行部会開催	七名	長岡天満宮
一五日	広報委員会 第二回委員会開催	五名	リビングバー京都
一八日	平成二六年度神青協中央研修会	二名	ホテルグランヴィア和歌山
一八日	事前視察会(合同会議)出席	八名	御香宮神社
二二日	第二回役員会開催	一四名	向日神社
二三日	渉外委員会 第二回委員会開催	九名	五十松
二五日	奈良県神道青年会 創立五〇周年記念式典出席	五名	ホテル日航奈良
二六日	教化委員会 第二回委員会開催	一一名	伏見稲荷大社
二七日	組織委員会 第一回委員会開催	五名	伏見稲荷大社
二九日	京都府神社庁 第一回交通慰霊祭奉仕	一九名	みやづ歴史の館
二九日	組織委員会 機関誌「洛声」第一〇二号発行	九名	京都駅
十月 七日	皇太子殿下御来京御奉送迎	九名	京都府神社庁
一五日	ホームページ運用検討会開催	九名	京都府神社庁
二二日	近畿地区第二〇回全国戦歿学徒追悼祭参列	二名	淡路じやのひれオートキャンプ場
二二日	京都府神道青年会 創立六五周年記念大会出席	一名	東京ドームホテル
二九、三〇日	神青協 竹島之碑竣工	一名	島根県隠岐郡隠岐の島町
十一月 五日	日本海平安祈願祭並びに殉難者慰霊祭参列	一名	平安神宮
七日	組織委員会主催研修会 「鎮め守られる庭園」開催(講師小川勝章氏)	一四名	大将軍八神社
一〇日	第二回役員会開催	一五名	リーガロイヤルホテル京都
一四日	日本会議 近畿ブロック代表者大会出席	一六名	長岡天満宮
一四日	親睦委員会 第一回委員会開催	一六名	賀茂御祖神社
一四日	渉外委員会 第二回委員会開催	一三名	ハヂメ
一五日	神青協 東日本大震災	一名	岩手県
一七日	岩手県被災神社復興支援植樹活動参加	六名	京都駅
一七日	天皇皇后両陛下御入洛御奉送迎	四名	京都駅
一七日	事業委員会 平成二七年カレンダー発行	一四名	賀茂御祖神社
一八日	近畿地区 第三回役員会出席	四名	ダイワロイネットホテル和歌山
一八日	近畿地区 臨時総会並びに第二回連絡会出席	九名	ダイワロイネットホテル和歌山
二二日	京都府戦没英霊追悼慰霊祭並びに時局講演会	一名	京都ガーデンパレス
二二日	第二回執行部会開催	七名	大井神社
二七日	神青協 平成二六年度臨時総会出席	三名	神社本庁
二八日	第四回全国青年神職野球大会参加	六名	明治神宮外苑軟式野球場
三〇日	次期会長・監事候補者推薦委員会開催	一六名	松尾大社
三〇日	広報委員会 会報「山紫水明」第二八号発行	一九名	なか川
四日	野球場 納会開催	五二名	かがり火
五日	組織委員会・親睦委員会主催 OB懇親会開催	五名	京都府神社庁
一〇日	京都府神社庁 関係団体懇話会出席	五名	長右衛門 京都烏丸店
一〇日	事業委員会 第四回委員会開催	一三名	炭火かず屋
一五日	第四回役員会開催	七名	ざやらい菜屋
一六日	全国青年神職野球大会祝勝会出席	三名	平安神宮
一七日	広報委員会 第二回委員会開催	七名	リーガロイヤルホテル京都
二三日	日本会議・京都 天長節奉祝 京都式典・記念講演会出席	七名	リーガロイヤルホテル京都

年月日	内 容	人数	場 所
一月 一七日	近畿地区 阪神淡路大震災二〇〇年 千人の大祓く近畿はひとつく 兵庫県神道青年会 阪神淡路大震災二〇〇年 復興奉告祭並びに国土平安祈願祭 京都府神社庁 平成二七年新年神職総会 及び助成金交付式出席	一名	神戸市立地域人材支援センター
二四日	第三回執行部会開催 近畿地区 国旗掲揚推進	九名	京都府神社庁 北野天満宮
二六日	渉外委員会 第四回委員会開催	二名	坐摩神社く御堂筋
二七日	「交通安全運動ヤチマタ募金活動参加 第五回役員会開催 京都府神社庁	一四名	まんざら亭 松尾大社
二九日	「建国記念の日奉祝京都式典・講演会」出席	一七名	吉田神社
三〇日	平成二六年度臨時総会 直前役員会開催	一七名	リーガロイヤルホテル京都
三〇日	平成二六年度臨時総会開催	六五名	リーガロイヤルホテル京都
三〇日	平成二七年度臨時総会開催 総勢二二三名	六八名	リーガロイヤルホテル京都
三〇日	日本会議・京都 「建国記念の日奉祝京都式典・講演会」出席	五名	リーガロイヤルホテル京都
三〇日	事業委員会 第五回委員会開催	六名	向日神社
三〇日	京都府神社庁 お伊勢さん初まいり参加	三名	神宮
三〇日	組織委員会 第三回委員会開催	七名	伏見稲荷大社
三〇日	「神職さん行く伊勢参宮」開催 総勢二五名	七名	神宮
三〇日	教化委員会 第三回委員会開催	七名	伏見稲荷大社
三〇日	事業委員会主催研修会 笑いヨガ (ラフターヨガ)開催 講師 林小絵氏	三八名	平安神宮
三〇日	渉外委員会 「ヤチマタ募金活動」開催 六九、〇六七円	九名	北野天満宮
三〇日	神青協 創立六五周年記念事業 独身神職交流会 第二回縁結会参加	四名	生田神社会館
三〇日	近畿地区 第四回役員会出席	三名	ダイワロイネットホテル和歌山
三〇日	近畿地区 地区研修会参加	九名	和歌山城 和歌山県護国神社
三〇日	近畿地区 第三回連絡会出席	九名	ダイワロイネットホテル和歌山
三〇日	広報委員会 第三回委員会開催	七名	旬菜料理 幸
三〇日	第六回役員会開催	五名	京都府神社庁
三〇日	渉外委員会主催 「ヤサカグループとの交流会」開催 総勢四七名	二五名	がんこ三条本店
三〇日	渉外委員会 第五回委員会開催	一五名	五十松
三〇日	神青協・近畿地区合同懇親会	二名	ダイワロイネットホテル和歌山
三〇日	神青協 平成二六年度中央研修会へ参加	一七名	ホテルグランヴィア和歌山
三〇日	近畿地区 親睦ゴルフコンペ参加 総勢四二名	二名	瑞穂ゴルフ倶楽部
三〇日	京都府神社庁 神社総代会総会出席	二名	ホテルグランヴィア京都
三〇日	組織委員会 機関誌「洛声」第二〇四号発行	会長	ホテルグランヴィア京都
四月 二日	親睦委員会 第三回委員会開催 京都府神社庁	五名	護王神社
四月 六日	「靖国神社京都出身者戦没慰霊祭」参加	六名	靖国神社他
四月 七日	皇太子殿下御来京御奉送迎	六名	京都駅
四月 十日	皇太子殿下御来京御奉送迎	五名	京都市内各所
四月 十一日	皇太子殿下御来京御奉送迎	五名	京都市内各所
四月 十二日	皇太子殿下御来京御奉送迎	八名	京都焼鳥製作所
四月 十三日	教化委員会 第四回委員会開催	三名	大将軍八神社
四月 十五日	第七回役員会開催	二名	阿倍王子神社
四月 十六日	近畿地区 臨時役員会出席	六名	京都府神社庁
四月 十七日	京都府神社庁 例祭参列	三名	神社本庁
四月 十八日	神青協 第六七回定例総会出席	二名	神社本庁他
四月 十九日	神青協 全国会長会出席	二名	神社本庁
四月 二十日	神青協 顧問・OB会出席	二名	神社本庁
四月 二十一日	野球部総会開催	三名	神社本庁
四月 二十二日	渉外委員会 第六回委員会開催	一三名	神社本店
四月 二十三日	野球部総会開催	九名	鳥せい本店
四月 二十四日	渉外委員会 第五回役員会出席	六名	まんざら亭
四月 二十五日	野球部 神宮・奈良神青親睦野球大会へ参加	六名	四季の味ちひろ
四月 二十六日	東日本大震災復興支援活動視察	三名	岡崎公園野球場
四月 二十七日	教化委員会 第五回委員会開催	一五名	宮城県
四月 二十八日	平成二七年度活動・予算審議会開催	六名	京都個室物語 竹取の音色京都駅前店
四月 二十九日	第八回役員会開催	一七名	伏見稲荷大社
四月 三十日	親睦委員会主催 「ヘアボウリング大会」開催 総勢九〇名	一六名	蕪屋
五月 一日	京都府神社庁 春の御田植祭体験ツアーへ参加	四八名	ラウンドワン京都河原町
五月 二日	京都府神社庁 第八回役員会開催	二名	大原神社
五月 三日	渉外委員会 第七回委員会開催	一名	五十松
五月 四日	京都府神社庁 第二八回鎮守の杜フェスタへ参加	七名	今宮神社他
五月 五日	ホームページ打ち合せ開催	三名	武信稲荷神社
五月 六日	近畿地区 平成二七年度定例総会出席	五名	ホテルグランヴィア和歌山
五月 七日	近畿地区 親睦ボウリング大会へ参加	一名	ホテルグランヴィア和歌山
五月 八日	渉外委員会主催 チャリティバザー開催 (雨天により野球大会は中止)	一名	ラウンドワン和歌山
五月 九日	渉外委員会主催 チャリティバザー開催 (三五、一五、二二、三三)	一五名	藤森神社
五月 十日	渉外委員会主催研修会 御嶽教師青年部会との 交流会開催 総勢二三名	一七名	藤森神社
五月 十一日	教化委員会主催 神社体験教室開催	二名	平安神宮 権太呂岡崎店
五月 十二日	神政連京都府本部主催第二九回会員大会へ参加	一七名	京都外国語大学
五月 十三日	第九回役員会開催	一六名	リーガロイヤルホテル京都
五月 十四日	第四七回京都府氏子青年連合会 定期年次大会出席	一四名	松尾大社
五月 十五日	組織委員会機関誌「洛声」 第一〇五・一〇六号発行	会長	賀茂別雷神社
五月 十六日	広報委員会 会報「山紫水明」第二九号発行	会長	賀茂別雷神社

# 委員会報告

教化委員会

## 神社体験教室



ら日常の事や具体例を挙げて分かり易く説明がなされ、学生は、その説明を熱心に聞き入り、また、ペンを走らせていた。講義の後、玉串拝礼の作法を教わった学生は、教室内に特設された神籬の祭祀の中で正式参拝という形で実際に玉串を奉り参拝した。

去る六月二十三日、教化委員会主催による「神社体験教室」が京都外国語大学に於いて開催され約三十名の学生が参加した。講義内容として、「神宮・大社・神社の違い」神社ではない方が良い仏教的作法」等、事前に学生から集めた質問に沿う形式で神社について東川委員から



講義終了後も会員に熱心に質問する学生もみられ、次世代に対して少しでも神社神道教化の一端を担えたのではないかと思う。尚、会員は、白衣・白袴で参加するが、これはこの事業が日本人の古来培ってきた精神文化や美意識の一端に少しでも目に見える形で触れて頂こうという趣旨からである。

## 鎮守の杜お祭り体験



去る八月七日、教化委員会主催による青少年教化事業「鎮守の杜お祭り体験」が八坂神社にて開催された。

この事業は、普段、神社に参拝する機会の少ない子供達に、鎮守の杜地域の子供達に、鎮守の杜の神社で楽しい時間を過ごしてもらおう事により、神社に親しみをもち日頃から参拝して頂けるよう、きっかけ作りを目的とした事業である。

当日は、十名程の子供達が親保護者と参加。先ず、八坂神社本殿にて参拝おまいり。その後、仲林委員より八坂神社について分かり易く説明がなされた他、境内では子供達が願い事を書いた七夕の短冊を笹に結び、特設された縁日風の屋台では、ヨーヨー釣りやスーパールすくいを楽しんだ。

当日は、暑さ厳しく室内に場所を移し、会員によるジャグリングや、





バルーンアートも楽しんだ。子供達を始め、親（保護者）、委員及び会員）の皆の笑顔が絶えない充実した事業となったが、子供達には今日の日を良き思い出にし、一過性のものではなく、また鎮守の杜（地域の神社）に足を運んでくれる事を切に願う。

最後に、八坂神社様を始め、ご協力頂きました関係各位に心より御礼申し上げます。



## 教化委員会主催研修会

### いけばなの伝承と伝統



平成二十七年十月二十九日、平安神宮記念殿ホールに於いて教化委員会主催の研修会が開催されました。

研修会には草月流師範野村花遙先生をお招きし、いけばなについてのご講演と実技のご指導をしていただきました。

まず講演では、いけばなの歴史についてのお話を伺い、いけばなの起源には神事の際、常緑樹に神を招く依代が発展したという説と、仏前に飾る「供花」が発展したという二つの説があるということや、「床の間」に飾られていた花が住宅環境の変化に伴い、玄関やリビングなどにも相応しい花に変化したといったことを教えていただきました。

続いて実技の時間では、用意された行李柳と菊を使って草月流いけばなの基本である基本立真型というかたちの生け方を教わり、多くの参加者が生まれてはじめてのいけばなに挑戦しました。実際に花を生ける際には花遙先生のお弟子さんである、野村梨花先生、樋口花祥先生にもお手伝いをいただき、枝を切り過ぎることのないよう慎重になりつつも思い思いの花を生ける







変有意義な研修会でした。

事業委員会

当会事業委員会では、毎年恒例の七五三ポスターを作成し、モデルには当会会員のお子様、進藤灯ちゃん、進藤航太郎くん、黒寄 琉雅くん、志賀 真佑美ちゃんの四名に務めて頂きました。

尚、このポスターは、ブライダルハウス・オエ様、タカミブライダル（高見株式会社）様、キョウカネウエディング様、株式会社京鐘様のご協賛、ご協力のもと作成させて頂いております。



ことができました。

参加者は自分が生けた花を花遙先生に手直ししていただき、ちよつとした違いで見違えるようにいきいきとした花に生まれ変わることになりました。

普段馴染みのないいけばなも、その起源は神道と深く関わっているということをお人柄のお蔭で終始和やかな雰囲気の中で、花を身近に感じることのできた大

本年は、キョウカネウエディング様にご担当を頂き、作成されたポスターは、各神社等に頒布をさせて頂きました。御協力を頂きました皆様、ありがとうございました。

渉外委員会

御嶽教師青年部との交流会



去る六月十九日、渉外委員会主催にて、御嶽教師青年部との合同研修会・懇親会が開催された。岩田会長 平成二十五年・平成二十六年（度）を始め、御嶽教師青年部、京都府神道青年会、合わせて二十八名の参加者は先ず、

平安神宮にて正式参拝し、威徳寺禰宜様より平安神宮の御由緒や御嶽教について御説明を頂いた。

その後、会場を平安神宮記念殿ホールに移し、「衣装・装束の成り立ちについて」と題して、(有)吉田装束店様を講師にお迎えして、装束に関する研修を行った。実際に衣冠装束を着付けする実演では、着付けのコツ、また資料を交えながら一つ一つ丁寧に説明をして頂き、参加者は今一度、装束について、また着装の作法について理解を深める事が出来た。

また、(有)吉田装束店様は、「百年後を見据えた装束」といった分野

にも力を入れておられ、温故知新の言葉を元に「クリオネ」がデザインされた狩衣も縫製されており、革新的な取り組みに参加者は、新しい息吹を感じたのではないかと思う。研修会後は、会場を「権太呂岡崎店」に移し、懇親会を開催。普段交流する機会の少ない御嶽教師青年部との懇親会は、時間を忘れる程大盛況の内に終了し、全日程を通して大変有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。



### チャリテイバザー



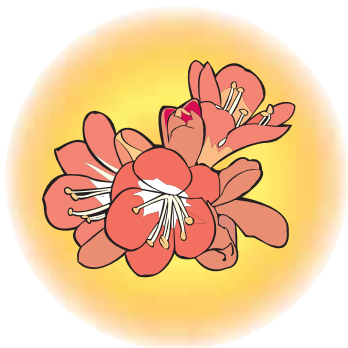
去る六月十八日に藤森神社境内の拝殿をお借りして毎年恒例の渉外委員会主催のチャリテイ

バザー』が開催された。当会からは、岩田会長 平成二十五年度・二十六年度を始め、生鳥渉外委員長以下十五名の参加であった。当日は、曇天であったが、「紫陽花まつり」が開催されているという事もあり多くの参詣者で境内は、大変な賑わいをみせていた。そのよ

うな中での開催とあつて会員一同が品物の搬出、陳列等の準備作業を行つている間も開始を待つ方々が多く見受けられ予定より三十分早めの開始となつた。

委員長始め会員が、このバザーの収益金が福祉事業に充てられる事を懸命に説明し、来場者の「もう少し負けてくれませんか」の一声に戸惑いを見せながらもやり取りし、終始和やかな雰囲気のもとバザーは進み盛況の内に終える事が出来た。会員にとっては、日頃ご社頭で参詣者と交わしている会話とは異なり物品の説明や普段の生活の話、また迅速な金銭のやり取り等、普段とは違う対応が良い経験になつたのではないかと思う。

最後に、境内をお貸し頂きました藤森神社様、また関係各位に紙面をお借りして、御礼申し上げます。



組織委員会

『洛声』第一〇七号発行



去る平成二十七年八月『洛声』第一〇七号を発行致しました。昭和六十三年二月に第一号が発行されてより、年四回の発行を積み重ね、今回お蔭様で、この一〇七号に至りました。今後も会員の最新情報を掲載していきたいと思しますので、協力の程、宜しくお願い致します。

親睦委員会

親睦運動会

九月一日、立正佼成会京都教会体育館をお借りして親睦委員会主催「親睦運動会」が会員を始め各社の巫女、事務員さん等、約六〇名の参加のもと開催された。櫻井会長による開会の挨拶、そして藤田委員の選手宣誓の後、予期せぬ身体的なアクシデントが無いよう皆で準備運動を入念にし、競技が開始された。

チームは赤、青、黄、緑の四組に別れ、



それぞれ平均的に力が分散されている事を信じ競技に挑んだ。

生寫親睦委員長のハツラツとした司会進行のもと、まずは、チームの結束力を、或いは自身の筋力を試すかの如く大縄跳びに始まり、障害リレー、玉送りゲームと、途中、休憩を挟みながら競技は少しずつ白熱を帯びて進行していった。最後の種目、綱引きは、どの競技よりも盛り上がりを見せ、普段、顔を合わす機会が少ない者同士の結束力とは思えない程の力強い競技力（チームプレー）を見ることが出来た。運動会全体を通して大きな事故や怪我もなく、終始参加者の笑顔が絶えず和やかな雰囲気の中で全種目を終える事が出来、この事業の目的である会員同士の「親睦」がはかれたのではないかと思う。



## 近畿地区報告

### 禊・鎮魂鍊成研修会



去る八月十九日・二十日、奈良県神道青年会主催による「禊・鎮魂鍊成研修会」が、奈良県天理市の石上神宮にて開催され、当会からは、六人部副会長を始め九名の会員が参加した。

一日目は、受付・潔斎の後、正式参拝。その後、参集殿にて森好央先生、石上神宮禰宜に禊・鎮魂の作法をご指導頂き、夕刻からは実際に神域深き禊場にて参加者の禪・鉢巻姿も凛々しく、禊祓行事を行った。また同日夜間に行われた拝殿での鎮魂・神拝行事は、街の喧騒とはかけ離れた石上神宮の杜の静けさの中で行われ、幽玄の世界の中の行事は、参加者にとって貴重な経験となった。

一日目、午後八時から、勉強会が行われ、金澤明信先生、樞原神宮禰宜に「今ここに」と題しての講演を賜った。

二日目は、起床の後、境内清掃。その後、禊・鎮魂行事を行い、閉講式後には、直会が行われ普段は交流する機会の少ない近畿地区協議

会の会員同士が親睦を深め、有意義な研修会の二日間となった。

### 第一回連絡会



去る平成二十七年九月七日、京都府神道青年会の当番により、神道青年近畿地区連絡協議会第一回連絡会が京都ロイヤルホテル&SPAに於いて開催され、当会より三十四名の会員が参加した。

開会の辞、神宮遙拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和が行われ、長谷川会長の挨拶に続き、当番府県である当会の櫻井会長の挨拶が行われた。

次に、報告事項に移り、中央報告、特別委員会報告、事業委員会報告、各単位の報告がそれぞれ行われた。その後、神道青年の歌、美はしき山河を斉唱し、聖寿万歳、閉会の辞で第一回連絡会は終了した。引き続き懇親会が開催され、ご来賓を始め、近畿地区他府県の会員同士が交流を深めた。

なお、今年度は、当会が当番府県であり、連絡会等の神道青年近畿地区連絡協議会が開催する事業を盛大に、かつ充実した事業にすべく当会の会員には積極的に事業に参加して頂く事を御願ひ申し上げます。

## 研修会



今回も連絡会に先立ち研修会が開催された。久野潤先生（大阪国際大学、名城大学講師、戦記作家）に「大日本帝国海軍の守護神となつた近畿の神社」と題して講演を賜つた。

かつての大日本帝国海軍の艦内神社には近畿の神社の御分霊が多い事を、具体的な艦艇の名を挙げて説明を頂いた。例として、戦艦「扶桑」、山城の艦内神社は、石清水八幡宮の御分霊である。

先生の魂のこもつた講演から、その当時、各艦艇の乗務員は、艦内神社を拝礼（崇敬）し、いつ何時でも滅私奉公の崇高なる精神を持ち、日本の国、国民を守ろうとされていたのだろうと容易に想像された。

近畿管内の神社に奉仕する者にとつて誇り高い事でもあり、また、身の引き締まる講演内容であつたのではと思う。

## 皇室関連施設清掃奉仕

去る九月二十四日、修学院離宮に於いて清掃奉仕が実施される予

定であつたが、当日、降り出した雨の為、急遽中止となつた。

近畿地区各府県遠方からの参加ということもあつて修学院離宮の職員のご厚意から、離宮施設を案内して頂けることになり、更に当初三十分程度の案内予定を一般拝観者と同じ行程で案内して頂ける事になつた。参加者は、職員の要所所の説明に興味深く耳を傾けていた。修学院離宮を後にした参加者は、懇親会まで京都市内にて神社参拝などの

研修時間を過ぎ、時刻、懇親会会場の「ホテル平安の森京都」に集し、懇親会が開催された。和気藹々とした雰囲気の中、親睦を深め、全日程が終了した。



## 第二十二回 全国戦歿学徒追悼祭

去る、平成二十七年十月二十一日に兵庫県南あわじ市にある、若人の広場公園において、全国戦歿学徒を追悼する會の主催による「大東亜戦争終結七十年記念・第二十二回全国戦歿学徒追悼祭」が午前十時三十分より斎行された。

本年は、神道青年近畿地区連絡協議会の各単位会より祭員九名、





伶人三名で祭典がとりおこなわれ、神道青年近畿地区連絡協議会会長の長谷川裕高会長が齋主を務め、当会からは護王神社の高田真之介会員と石清水八幡宮の梶貴嗣会員の二名が祭員として奉仕した。

当日は、秋晴れのもと天候に恵まれて、神道青年全国協議会長友安隆会長、当会櫻井宣人会長をはじめとして、神青会員また遺族関係者等の三百五十人以上もの多くの人が参列し開催された。

まず全国戦歿学徒を追悼する會の会長である永田秀一会長が挨拶され、国歌斉唱後、追悼がおこなわれた。

追悼祭の中では、全国戦歿学徒を追悼する會の永田秀一会長の追悼文奉読、兵庫県知事の井戸敏三知事の追悼文奉読、裏千家前家元の鵬雲齋千玄室大宗匠による献茶奉納、海上自衛隊喇叭隊による記念塔に向かつての喇叭吹奏、神楽、みたま慰めの二人舞の奉奏、福田寺住職による般若心経讀経、キリストの幕屋による讚美歌奉唱、奉唱曲「わがやまとのくに」「海ゆかば」がおこなわれた。宗派問わず多宗教での追悼祭であった。

尚、今回の第二十一回全国戦歿学徒追悼祭の齋場となつた、若人の広場公園は平成二十五年より施設改修整備工事がなされていて今

年三月に改修整備工事が無事完了されたところであり、施設再興後初めての全国戦歿学徒追悼祭であり、同場所での開催は第十八回全国戦歿学徒追悼祭（平成二十四年）以来三年ぶりの開催となつた。

また、本年は大東亜戦争終結七十年の節目にあたり、当日午後一時三〇分からは同場所において兵庫県主催による、終戦七十年全国戦歿学徒追悼式典も開催された。

私は初めてこの全国戦歿学徒追悼祭に参列させていただきましたが、素晴らしい追悼祭であり英霊に対する気持ちと追悼の念を今一度ふりかえりみて新たに感じました。



## 平成二十七年年度

### 神道青年全国協議会夏期セミナー

「今、伝えるべき日本人の心」

～戦後七十年に想ふ道義国家への布石～

去る八月二十六日、二十七日の二日間に亘り、神社本庁にて神道青年全国協議会夏期セミナーが開催された。約百三十名の受講者があり、そのうち京都府神道青年会からは、櫻井会長以下六名が参加した。

神社本庁大講堂にて開講式が執り行われ、第一講として高橋史朗先生（明星大学教授）による「日本を取り戻す教育」と題する講義を賜り、第二講は貝塚茂樹先生（武蔵野大学教授）による『戦後七十

年』と道徳教育の再生（学校・家庭・地域はどう連携できるか）と題する講義を賜った。

核家族化が進んだ現代社会、また占領軍による弱体化政策により、家庭や地域での教育力が低下している事を問題視し、心の荒廃をこれからのようにしていけば防げるのか、またどのようにすれば美しい心を取り戻せるのかという内容であり、地域形成の場（コミュニティ）である神社に於いて我々青年神職が、敬神生活の綱領を元にこれから果たさなければならぬ使命が、ますます重要なものとなってくるのではないかと再確認する事が出来た。

二日目は、靖國神社に参集し、正式参拝。その後、靖國神社啓照館にて、第三講として小方孝次先生（靖國神社権宮司）による「靖國の心と戦後七十年」と題して講義を賜った。

二日間の講義を通して、戦後七十年という節目にあたるこの年に今一度、占領軍の弱体化政策により解体された道徳教育について考え学び英霊が命を懸けて守り伝えたかった美しい道義国家日本を取り戻すべく行動しなければならぬのではと参加者は思いを一にしたのではと思う。

尚、両日に亘り、講義終了後、パラオ共和国戦歿者慰霊祭の報告が神道青年全国協議会・渉外委員会よりなされ、硫黄島訪島並びに慰霊事業の報告が神道青年全国協議会・次世代委員会委員長の六人部是充（京都府神道青年会・副会長）よりなされた。





① 林 秀明  
 ② 平成五年一月二十日  
 ③ 京都府  
 ④ 石清水八幡宮  
 ⑤ 渉外委員会  
 ⑥ 「三島 由紀夫の作品」



① 梶 貴嗣  
 ② 平成四年九月二十九日  
 ③ 京都府  
 ④ 石清水八幡宮  
 ⑤ 事業委員会  
 ⑥ 「アルジャーノンに花束を」



① 中原 千明  
 ② 平成四年十一月十九日  
 ③ 和歌山県  
 ④ 賀茂御祖神社  
 ⑤ 事業委員会  
 ⑥ 「蜘蛛の糸」  
 人は苦しい境地に立たされた時  
 どう振舞うのか  
 その人の本性が問われる場面から



① 竹山 昊大  
 ② 平成三年十一月十三日  
 ③ 京都府  
 ④ 賀茂御祖神社  
 ⑤ 視察委員会  
 ⑥ 「古事記」



# 平成二十七年度 新入会員紹介

今年度入会の新人会員を紹介します

① 名前 ② 生年月日 ③ 出身地 ④ 奉務神社 ⑤ 所属委員会 ⑥ 好きな書籍、又は、感銘を受けた書籍とその理由





①加藤 乱  
 ②平成元年八月二日  
 ③東京都  
 ④車折神社  
 ⑤広報委員会  
 スタンド「バイミー(小説版)」  
 映画版にも言えるが、年月を経て読み返すと、印象が大きく変わる所が良い



①川村 亮敏  
 ②平成五年二月二十六日  
 ③高知県  
 ④北野天満宮  
 ⑤広報委員会



①山名 智之  
 ②平成四年七月二十二日  
 ③福島県  
 ④賀茂別雷神社  
 ⑤親睦委員会  
 「雅楽への招待(東儀 俊美・著)」  
 雅楽を好きになるきっかけとなったので



①伊藤 陽馬  
 ②平成元年七月二十九日  
 ③福岡県  
 ④敷地神社  
 ⑤広報委員会  
 「銀河鉄道の夜」  
 幻想的な情景描写と人生哲学的な表現が多く使われているので



①石 篤大  
 ②平成四年二月二十六日  
 ③京都府  
 ④龍森神社  
 ⑤親睦委員会  
 「家族八景(筒井康隆・著)」  
 人の心を暖める少女、七瀬が色んな家庭を周りながら人間の心の底にある様々な思いを見て、成長していく作品で、家族というものへの愛を感じて好きになった一冊



①小栗栢 惠英  
 ②昭和五十二年八月八日  
 ③京都府  
 ④御霊神社  
 ⑤教化委員会  
 「狂愚まことに愛すべし  
 才良まことにおそるべし」



① 高橋 敬比古  
 ② 昭和六十二年四月八日  
 ③ 茨城県  
 ④ 伏見稲荷大社  
 ⑤ 渉外委員会  
 ⑥ 「吾輩は猫である」  
 初めて読んだ本なので



① 藤井 一徳  
 ② 平成元年十二月十八日  
 ③ 京都府  
 ④ 城南宮  
 ⑤ 事業委員会  
 ⑥ 「ローズウォーターさん  
 あなたに神のお恵みを」  
 善意とは、奉仕の心とは何か考える契機を  
 くれました



① 高橋 極太  
 ② 昭和五十九年七月三日  
 ③ 北海道  
 ④ 敷地神社  
 ⑤ 組織委員会  
 ⑥ 「文化財のための保存科学入門」  
 数多の文化財がいかにして修繕、保護  
 され、高度な技術と人々の尽力に敬服  
 し感銘を受けたので



① 岸本 賢彦  
 ② 平成元年八月二十八日  
 ③ 東京都  
 ④ 吉田神社  
 ⑤ 視察委員会  
 ⑥ 「顔田王」  
 吉の人々のありようが生き生きと描か  
 れているので



① 武曾 哲高  
 ② 平成四年八月八日  
 ③ 福井県  
 ④ 八坂神社  
 ⑤ 教化委員会  
 ⑥ 「いい言葉は、いい人生をつくる」  
 (斎藤 茂太・著)  
 各界の著名人の心に残る言葉が数多く  
 掲載されており心に染みる本なので



① 廣 達敏  
 ② 平成五年一月三日  
 ③ 奈良県  
 ④ 伏見稲荷大社  
 ⑤ 組織委員会  
 ⑥ 「注文の多い料理店(宮沢賢治・著)」  
 初めてこの作品に触れたのは小学生の頃、  
 教科書に載っているのを読んだ時でした。  
 それ以来、歳を重ねる度、読み返せば昔とは  
 作品に対する感じ方も変わるので好きです。



## 事務局・会計局各次長 紹介

当会には会務運営を円滑にするために事務局並びに会計局が設置されています。それぞれの次長は局長からの指名により決まり、局長の補佐をする役職です。



会計局次長  
**早野 健太**（吉田神社）  
微力ながら皆様のお役に立てるよう、精一杯務めて参ります。何卒よろしくお願ひ致します。



事務局次長  
**宇佐美 真**（平安神宮）  
微力ながら竹内事務局長を支えられる様、務めてまいります。宜しくお願ひ致します。



## 編集後記

櫻井会長新体制の下、広報委員会として初めての『山紫水明』の発行となりました。今、このように皆様のご協力を得まして無事に発行出来ました事に、ただただ感謝申し上げます。

さて、今年が、「大東亜戦争終結七十年」という節目の年であるという事で、英霊鎮まります靖國神社の宮司 徳川康久様にご多忙の中、玉稿を賜りました。

この特別寄稿を一読して頂く皆様には、英霊の御功績に今一度思いを馳せて頂き、神明奉仕に努める上で、また、日々の生活の中で何か心動かす原動力にして頂ければ幸いです。

この度の発行にあたり、玉稿を賜りました靖國神社宮司 徳川康久様を始め関係各位にはこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

私事ですが、筆不精ですので広報委員の皆様を始め、会員皆様のご協力無くしてこの『山紫水明』は成立致しません。どうぞ、次号からも多大なるご協力をお願い申し上げ一旦擱筆させていただきます。

### 『山紫水明』第二三〇号

題字 頼新先生  
編集 広報委員会  
発行所 京都府神道青年会  
発行日 平成二十七年十一月三十日  
印刷 株式会社ユニティー